

## 平成 29 年度消化器専門医後期臨床研修プログラム（消化器内科）

文責：今村秀道

・研修内容：原則 4 年のプログラム。幅広い知識をもった内科医の育成、消化器専門医として活躍できる知識・技術の修得を目標にする。

【1 年目】外来診療：週に 1-2 回、新患中心。入院患者診療：上級医とのグループで、主治医・担当医として 10-20 名程度。ER 当番、待機番、内科系当直：緊急的な消化器疾患、内科系疾患への対応。カンファランス：外科・消化器内科・内視鏡。上・下部消化管内視鏡検査（上部 200 例、下部 100 例が目標）、消化管造影検査（胃・大腸）、腹部超音波検査の修得。CT や MRI などの画像診断。簡単な？（内視鏡）治療の術者、助手。化学療法や癌疼痛コントロールを含む緩和ケア。研究会や学会での発表、論文作成。

【2 年目】日常診療は、スタッフとほぼ同様に行う。上・下部消化管内視鏡検査（上部 400 例、下部 200 例が目標）、超音波内視鏡検査、（内視鏡）治療の術者。内科認定医の取得を目指す。

【3、4 年目】消化器疾患にかかわるすべての診療手技を指導医のもとでほぼ独立して行う。より高度な（内視鏡）治療の術者。専門医の取得を目指す。

・取得できる専門医：日本内科学会認定医・専門医

日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本肝臓学会専門医

・指導体制：県中・県南地区の基幹消化器内科。日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会の指導施設。福島県立医科大学消化器・膠原病リウマチ内科の関連施設：医師の派遣（：外来 2 名）。他科：外科・麻酔科等の医師の研修。

スタッフ：副院長 迎 慎二（指導医・専門医）、消化器内科部長・内視鏡室部長 今村秀道（指導医・専門医）、消化器センター内科系部長 橋本健明（専門医）、医員 中島勇貴、医員 小橋亮一郎

・診療実績（2012 年）；消化管内視鏡検査：上部 6350 件、下部 2559 件、緊急内視鏡検査：上部 243 件、下部 51 件、内視鏡的食道静脈瘤硬化療法/結紮術：17 件/27 件、食道・胃粘膜下層切開剥離術（ESD）/粘膜切除術（EMR）：94 件（食道 12 件）/20 件、大腸ポリペクトミー・EMR・ESD：358 件（ESD11 件）、超音波内視鏡検査：175 件（超音波内視鏡下穿刺吸引生検を含む）、内視鏡的逆行性胆管膵管造影：245 件、小腸内視鏡検査：20 件、経皮内視鏡下胃瘻造設術：11 件、ラジオ波焼灼療法：50-60 件、ほか（カプセル内視鏡検査、経皮的胆道ドレナージ、肝動脈腫瘍塞栓術、B-RTO 等）。